

# 助詞一覽 (3)

※ ★は現代日本語では一般に用いられない意味・用法を示す。

## IV 係助詞

※ 「係助詞」は「かかりじょし」と呼ぶこともある。

語	主な意味・用法	訳	備考	接続
は	提示・区別	…は		種々の語
も	添加・並列・強意	…も		種々の語
ぞ	★ 強意		* 特に訳さないことが多い。原則として連体形で結ぶ(係り結びの法則)。 * 例:「その月は海よりぞ出でける」(土佐日記)	種々の語
	★ 断定	…だ、…である	* 文末での用法。 * 例:「いかに言ふぞ」(徒然草)	
なむ (なん)	★ 強意		* 特に訳さないことが多い。原則として連体形で結ぶ(係り結びの法則)。 * 例:「いと思ひの外になむ賞でける」(土佐日記)	種々の語
	★ 断定	…です	* 主に会話文の文末での用法。やわらかい断定。 * 例:「かかる仰せ言につけても、かきくらす乱り心地になむ」(源氏物語)	
こそ	★ 強意	…こそ	* 特に訳さないこともある。原則として已然形で結ぶ(係り結びの法則)。 * 例:「折節の移りかはるこそ、ものごとにあはれなれ」(徒然草)	種々の語
や か	★ 疑問	…か、…だろうか	* 「疑問」でも「反語」でも、原則として連体形で結ぶ(係り結びの法則)。 * 例:「いづれの山か天に近き」(竹取物語)	体言・ 終止形(や)・ 連体形(か)・ 副詞・助詞
	★ 反語	…だろうか、いや…ない	* 特に「や」「かは」の形の場合、反語の用法であることが多い。 * 例:「後の位も何にかはせむ」(更級日記)	

## V 終助詞

語	主な意味・用法	訳	備考	接続
な	禁止	…な		終止形
そ	★ 禁止	…な、…ないでくれ	* 副詞「な」とともに「な…そ」の形で使われることが多い。 * 例:「月な見給ひそ」(竹取物語)	連用形
ばや	★ 願望	…たい、…たいものだ	* 例:「かかる所に思ふやうならむ人を据ゑて住まばや」(源氏物語)	未然形
	★ 意志	…う、…よう、…つもりだ	* 例:「何方へも行かばや」(一寸法師)	
てしが てしがな にしが にしがな	★ 願望	…たい、…たいものだ	* 「てしか」「てしかな」「にしか」「にしかな」という形もある。 * 例:「いかにこのかぐや姫を得てしがな、見てしがな」(竹取物語)	連用形
がな もがな もが	★ 願望	…がほしい、…があればなあ	* 例:「あつばれ、よからう敵がな。最後の戦て見せ奉らん」(平家物語)	体言・連用形
なむ (なん)	★ 他への願望	…てほしい	* 例:「惟光とく参らなむと思す」(源氏物語)	未然形
かな	★ 詠嘆	…だなあ、…ことだよ	* 例:「親にもかやうに思はるも口借し次第かな」(一寸法師)	体言・連体形
な	★ 詠嘆	…だなあ、…ことだよ	* 例:「花の色は移りにけりないたづらに我が身世にふるながめせし間に」 (古今集)	文末
かし	★ 念押し・確認	…よ、…ね	* 例:「今一度起こせかしと思ひ寝に聞けば」(宇治拾遺物語)	文末

VI 間投助詞

ご語	おも い み ようほう 主な意味・用法	やく 訳	びこう 備考	せつぞく 接続
や	★ 詠嘆 えいたん	…よ、…だなあ、…ことだよ	れい ふるいけ かはづと みづ おと はる ひ * 例:「古池や蛙飛びこむ水の音」(春の日)	しゅじゅご 種々の語
	★ 呼びかけ よ	…よ	れい きみ かた * 例:「あが君や、いづ方にかおはしましぬる」(源氏物語)	
よ	★ 詠嘆 えいたん	…よ、…だなあ、…ことだよ	れい あうむ ひと い まくのそうし * 例:「鸚鵡、いとあはれなり。人の言ふらむことをまねぶらむよ」(枕草子)	しゅじゅご 種々の語
	★ 呼びかけ よ	…よ		
を	★ 詠嘆 えいたん	…よ、…だなあ、…ことだよ	れい け みち き きのふけふ おも * 例:「つひに行く道とはかねて聞きしかど昨日今日とは思はざりしを」(伊勢物語)	しゅじゅご 種々の語
	★ 強意 きょうい		れい せい おお いっすんぼうし * 例:「われわれが背を大きになれ」(一寸法師)	